

私はフリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州



ミラマーレ城 ©Marco Milani

フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州は、国境の街として数々の隠れた宝物にあふれ、風景、文化、古い伝統が絶え間なく交差し合い生まれました。

フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州の城は、リラックスできるここだけの風景とスポットを通して、素晴らしいこの州の独自性を発見することができます。州内にある美しい多くの邸宅は、観光スポットの近くに調和して溶け込んでいます。

歴史ある古い城を訪ねること、それは過去へとタイムスリップするようなものであり、何世紀前の空間の中で、忘れることのできない時間を体験する、魅力的で唯一の時間です。

イタリアで最も美しい村々にある城を訪ねる

この州には、主要都市からさほど遠くない場所に、「イタリアで最も美しい村々」に数えられる城のある風景に出会うことができます。

城が造られている場所は、その地理的要素が深く関係しています。例えば、丘陵地にそびえる城は、領土を監視するという目的を持ち、一方で低い平地に造られた城は、水城として風光明媚な様相を呈しています。

コウノトリを保護するために重要な自然のオアシスとしても知られるファガーニャの街に隣り合っ
て、**ヴィッラルタ城**がそびえています。湖の城



ヴィッラルタ城 ©Ulderica Da Pozzo

は、州に残る中世の城として最も重要で素晴らしい城のひとつであり、城の土台である古代ローマ時代の建物に見られるように、時の流れの中で、その歴史は埋もれてしまいました。平野を見晴らす場所に位置する城は、丘陵地帯の美しくロマンチックなエリアを旅したい人に人気の行程であり、途中には、州の名産であるサン・ダニエーレの生ハムの生産地域があり、試食をすることもできます。



ストラッソルド城の庭園 ©Alessandro Michelazzi

平野には、歴史的観点から、そしてその外観から、さらに興味深い城があります。1000年以上前に建てられた**ストラッソルド一族の城**です。かつて彼らに仕えていた農民や職人たちが住んだ家や農業用の建物に囲まれており、これらの建物が合わさり、この一族と同じ名前の小さな村が誕生しました。城の内部には、今でも古い家具や一族の祖先の肖像がいくつも残り、まるでその歴史は今も途切れることなく続いているかのような雰囲気にも包まれています。

施設は短期休暇用の宿泊施設となっていますが、オーナーが同行することで、日帰り訪問も可能です。

中世の城で歴史を再現する

城や騎士、戦いの場面や宮廷での祭りの様子など、伝説的な過去の世界を体感するワクワクした気持ちを体験したくありませんか？

それなら、州で開催される歴史再現のお祭りへの参加がおすすめです。この地域を生きた歴史の中の主人公になったり、古い習慣や伝統の前に驚き、知られないスポットを発見したり、あるいは1000年以上にわたる歴史の中の、シンボルともいえるスポットに足を踏み入れることだってできます。



ヴァルヴァゾーネの中世祭り ©Massimo Crivellari

「**ヴァルヴァゾーネの中世**」という歴史イベントは、城とその村（城下町）を中心に開催されます。パフォーマンスやアニメーション、中世を忠実に再現し、当時の食卓などが忠実に再現されます。その他にも、トッレ・ディ・ポルデノーネという街でも、中世を再現する祭、「城の回転木馬（Giostra dei castelli）」が開催され、数世紀前への旅へと誘う、鷹匠（タカジョウ）、射手名人、戦士、道化師や踊り手が登場し、音楽が奏でられ、宮廷で行われた催しや城での祭りを体験することができるのです。

城の中にある歴史的ワイナリー

フリウリ・ヴェネツィア・ジュリア州と最も古いつながりがあるもの、それはワインとブドウ生産です。この州の素晴らしい様々な特殊な地理および気候により、数世紀にも渡り、食とワイン文化、そして豊かなブドウ

栽培を特徴づける独自の歩みがもたらされました。そのため、この地では毎年、世界でも優れた白ワインとフルボデイの赤ワインが造られています。

古い城内部のいくつかの歴史あるワイナリーは、現在もワイン生産と保管のために現役で使用されています。現在のワイン生産は最新技術が使用されていますが、ワインの品質は常に、地元の伝統を尊重していることが保証されています。

スペッサ城のワインは、中世のワイナリーと第2次世界大戦の間に掘られたバンカー（掩体壕 / えんたいごう）で生産されています。このバンカーは、1987年、城の改修の際に見つかったもので、深さ約18mで常に温度は14度に保たれており、特に高級ワインの保存に適しています。

ブットリオ城でも、優れた品質のワインが生産されています。城は並木を見下ろす丘の頂上にあり、その立地からも、地域とワイン造りの伝統が分かつことにできない関係（絆）があることがよくわかります。

それぞれの城は訪問可能で、目から、香りから、そして舌を刺激する行程を通し、ワイナリーオーナーからの説明や試飲などを楽しむことができます。

城は博物館

城は時に、数世紀もの間にその地に生きた人々のロマンチックなストーリーから悲劇のストーリーなど、その城だけの物語を伝えてくれます。しかし、ときには、その土地の地域の歴史が集められた、そして伝える博物館へと改装されることもあります。



ゴリツィア城 ©Marco Milani



スペッサ城 ©Marco Milani



ブットリオ城 ©Luigi Vitale

街の古い中心部にある、**ゴリツィア城**がその例です。起源は11世紀にさかのぼる城は、何度も改修が行われ、稜堡や塔が増築されたり、あるいは、行政の中心から兵舎、刑務所など異なる機能として使用されました。現在では、ゴリツィアの中世博物館として使用されており、中世期に使用されてきた白い兵器などを再現した興味深い展示物があります。音楽の間には、現在の技術を駆使し、当時のメロディーを聞くことができる古い楽器の再現などもされています。



ウーディネ城 ©Ulderica Da Pozzo

ウーディネ城は、現在では複数の博物館施設が併設されています。まずは考古学博物館、そしてリソルジメント博物館では、映画やマルチメディア補助を伴って、分かりやすい展示が施されています。古代アートギャラリーでは、1300 年代後半から 1800 年代前半までの、地元のアーティストによる多くの作品が収集され、展示されています。写真博物館では、19 世紀から 20 世紀の地元の写真家の写真が保存されています。

歴史的な庭園

かつての宮廷の生活、騎士や夫人らの姿を想像させるのは、城や貴族の宮殿だけではなく、中庭や庭園も、彼らが交わした会話や散歩姿、あるいは遊びや踊りをも思い起こさせます。

歴史のある庭園がオリジナルの姿をとどめていなくても、部分的な復元や再構築による効果は絶大です。

州内にある素晴らしい庭園として挙げられるのは、**ヴィッラ・フレスキ・ピッコローミニ**です。コルドヴァードの要塞化した街の内部にあり、古い城があった場所です。この庭園を訪れば、互いに絡み合う 2,000 本のダマスカスローズが作り出す迷路に沿って散歩をすることができます。花が咲く季節にバラ園が公開され、ガイドツアーや展覧会、会議なども開催されます。



ミラマーレ城 上空から Photo by Anja Cop



ミラマーレ城 内部 ©Massimo Crivellari

ミラマーレ城の庭園も、元々はプライベートな庭として造られましたが、その後、その素晴らしさで代表的な庭園となりました。建物が設計させたのは 19 世紀半ばであり、所有者は当時のオーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフの弟、ハプスブルク家のマクシミリアンであり、彼の意思に従って造られました。マクシミリアンは、

芝生エリアに水路や、自然をお手本にした木々や湖を配置しました。今でも、曲がりくねった小道の間を歩くと、突然目の前に現れる海や、絶景、そして鏡のような水面を楽しむことができます。

ダウンロード

[歴史的な住まいと城](#)

詳細情報 メールアドレス（英語にて）

- turismofvg.it
- info@promoturismo.fvg.it